

令和4年度 財務部の運営方針

部	財務部	部長	山口 伸和
---	-----	----	-------

【基本方針】

財務部では、各部の施策を着実に実行していくため、重要な財源となる市税の確保に努めるとともに、将来にわたる健全で安定した財政運営を行うため、次の目標に取り組みます。

- ① 予算の執行状況を注視し、適正な予算配分について検討するとともに、将来の公債費負担の軽減に努めます。
- ② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
- ③ 契約にあたっては、公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図るとともに、ウィズコロナの時代に対応した入札に移行します。

【重点目標】

1	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立					C
2	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	市税の公平で適正な課税及び徴収					B
3	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	適正かつ安全な入札及び契約の執行					A

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

今年度の達成目標
令和3年度決算における予算執行率の検証結果を活かした予算編成を行います。
今年度の達成目標
今後増加が見込まれる投資的事業に係る費用の平準化を図ります。



具体的取組	
各事業ごとに予算執行率を検証し、適正な予算配分となるよう精査を行います。	
所管室・課	財政課
具体的取組	
交付税に算入される優良な起債の選定を行うとともに、公債費の管理計画を見直します。	
所管室・課	財政課



達成状況	達成度
令和5年度の予算要求額について、既存事業では経常費用の削減を行いました。各公共施設等の管理費において、エネルギー価格の高騰に伴う光熱水費の増加が影響し、財政調整基金の繰入額は、前年度比1億円増加しました。	C 一部達成
達成状況	達成度
令和5年度当初予算において、投資的事業に係る費用は前年度と比べて1億円の減となったものの、地方債発行予定は前年度同規模の約9億円となりました。将来世代に対する負担の抑制が今後の課題ですが、事業費の平準化は図れました。	B 概ね達成

具体的な取組実績	
令和5年度予算の編成にあたり、令和3年度の決算や令和4年度予算の執行状況等を踏まえて、経常経費についてはシーリングを実施するとともに、各部局からの予算要求ヒアリングにおいて事業費精査を行いました。	
具体的な取組実績	
令和5年度実施計画における各課からの投資的事業の要求に際し、交付税算入のある起債を選定を行うなど、一般財源ベースでの事業費の平準化に取り組みました。また、実施計画の結果を反映した地方債償還シミュレーションの更新を行いました。	

総合評価・総括
令和5年度当初予算は、前年度に比べて約3億2,000万円の増加となりました。これは新消防組合の発足に向けた整備負担金を計上したことに加え、エネルギー価格の高騰に伴い各公共施設における光熱水費が増加したことによるものです。また、予算額が増加したことに伴い、財源不足による財政調整基金からの繰入金も、前年度に比べて1億円増加したことから、持続可能な行財政運営に向けた取組としては課題が残った結果となりました。

全体の達成度
C 一部達成

今後検討すべきこと
今後、稼働人口の減少に伴い市税が減収していく中で、人件費や社会保障経費、他会計への繰出金などの固定経費は増加していくと見込んでいます。また、これに加えて老朽化施設の維持補修や改修などによる投資的経費の増加と、これに伴う公債費の増加も見込まれることから、財政運営は今後も厳しい状況が続くと見込まれます。投資的経費の平準化については、公共施設の統廃合や改修の必要性、実施時期などについて関係部署が連携して協議し、検討を進めます。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

今年度の達成目標
課税調査により課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。



達成状況	達成度
取組結果に基づき、特別徴収分個人市民税1,155,000円、法人市民税539,700円、償却資産課税分固定資産税3,359,100円、合計5,053,800円の市税を新たに課税できました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
令和3年度の徴収率を上回ることを目指します。



達成状況	達成度
令和5年3月末地点の市税徴収率は、96.1%と昨年同時期と比較し、0.5ポイントの増加となりました。	B 概ね達成



具体的取組
未申告者に対する調査や申告催促、課税資料未提出事業所に対する提出催告、課税対象となる固定資産に関する現地訪問調査などを実施し、適正な課税の実現に努めます。



具体的な取組実績
給与支払報告書未提出事業所への提出催告(33件)、法人市民税未申告法人等への課税調査(33件)、償却資産未申告事業所への課税調査等(45件)を実施しました。

所管室・課	課税課
具体的取組	
滞納解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行います。 また、滞納事案については、厳正な滞納整理を推進し、市税の適正な確保に努めます。	
所管室・課	納税課



具体的な取組実績
滞納となった場合に、督促状・催告書を送付し、早期に納税相談を行い、自主納付を促しました。 自主納付に至らない場合には、財産調査を行い滞納処分を執行し、滞納額の縮減を図りました。

総合評価・総括
令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、職員にも自宅待機等の影響が及び、通常業務執行にも苦慮することもある厳しい状況でしたが、可能な限り課税の適正化に取り組むことができましたと考えています。 また、同様の状況の中、市税の適正な確保に努めた結果、徴収率の向上及び滞納額の縮減を図ることができました。なお、徴収率向上には、景気回復基調も背景として影響したと考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
今後も、限られた職員で効率的に課税の適正化を推進するため、多様な手法等を検討していきます。具体的には、複数の係間で共通する調査業務や未申告事業所との交渉窓口についての連携や一本化などにより、業務削減、税収増、市民サービス向上等が実現可能か検討していきたいと考えます。 また滞納解消に向け、納税者の実情に即したきめ細やかな納税相談に引き続き取り組むとともに、相談に応じない事案については、公売等の厳正な滞納整理も推進していきたいと考えます。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 3	適正かつ安全な入札及び契約の執行
--------	------------------

今年度の達成目標
契約事務における透明性・公正性・競争性を確保します。



達成状況	達成度
入札等監視委員会における審議の結果、意見の具申や勧告等がなかったことから、適正な入札、契約が行われていることが確認されました。	A 達成

今年度の達成目標
ウイズコロナ時代に対応するため、感染リスクを軽減した入札を実施します。



達成状況	達成度
入札会場における入札の機会を少なくし、極力、人流や密集を回避できたとともに、会場における新型コロナウイルス感染症の感染クラスターを防ぐことができました。	A 達成



具体的取組
入札及び契約の適正化を促進するため、入札等監視委員会において、対象案件の審議をしていただき、意見の具申又は勧告を行っていただきます。



具体的な取組実績
委員会は予定どおり3回開催し、7月に前年度下半期の建設工事と物品の購入、11月に前年度の業務委託、2月には今年度上半期の建設工事と物品の購入、それぞれの入札案件及び対象となる随意契約について、審議いただきました。

所管室・課	契約検査課
具体的取組	
これまで入札室で執行していた入札を来庁不要な電子入札や郵便入札に移行するとともに入札室で行う場合は、基準を設け、人流を抑制します。	
所管室・課	契約検査課



具体的な取組実績
全入札201件のうち、紙入札は、執行基準に適合する9案件のみに抑制し、残る192件については、電子入札又は、郵便入札としました。

総合評価・総括
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、3回にわたり開催した入札等監視委員会において、対象となる契約案件を審議いただくことにより、達成できたと考えます。特に、委員会当日の審議案件の抽出に当たっては、事前の資料の早期送付(約2週間前)に努め、委員が十分に案件の内容を精査の上、選択いただく時間を確保できました。また、郵便入札においては、入札参加者の封入ミスが発生することもあるため、封入方法を分かりやすく図示した文書を配布する等、入札参加者の封入ミスによる無効入札の防止についても取り組みました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
入札・契約事務の最重要課題である透明性・公正性・競争性の確保について、引き続き取組を進めます。